

■ 野村地区

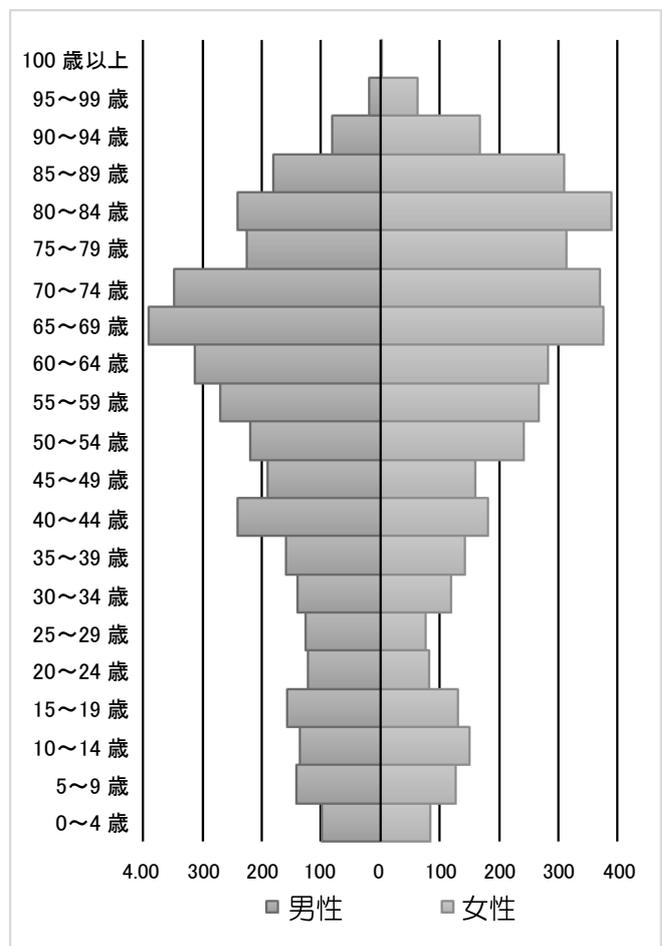
統計で見る地域の特性

人口	7,837
世帯数	3,684
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	734
生産年齢人口	3,622
老年人口	3,481
(うち75歳以上人口)	1,997
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	44.4%
要支援認定者数	164
要介護認定者数	549
自治会数	131
サロン数(高齢者)	56
民生・児童委員数	40
(1人当たりの世帯数)	92.1

※ 特別養護老人ホーム(法正園・しいのき園)の人口は除く

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

(野村・溪筋・中筋・大和田・横林)

開催日	1回目 令和元年6月18日(火)	2回目 令和元年6月18日(火)
会場	野村保健福祉センター ホール	

※KJ方式によるグループ討議

(惣川・大野ヶ原)

地区	日程	会場
惣川地区	令和元年10月30日(水) 19:00~20:30	惣川公民館 2階ホール
大野ヶ原地区	令和元年10月30日(水) 13:30~15:30	大野ヶ原地区集会所

※惣川地区、大野ヶ原地区は1回で意見交換会方式により開催

野村町 野村地区

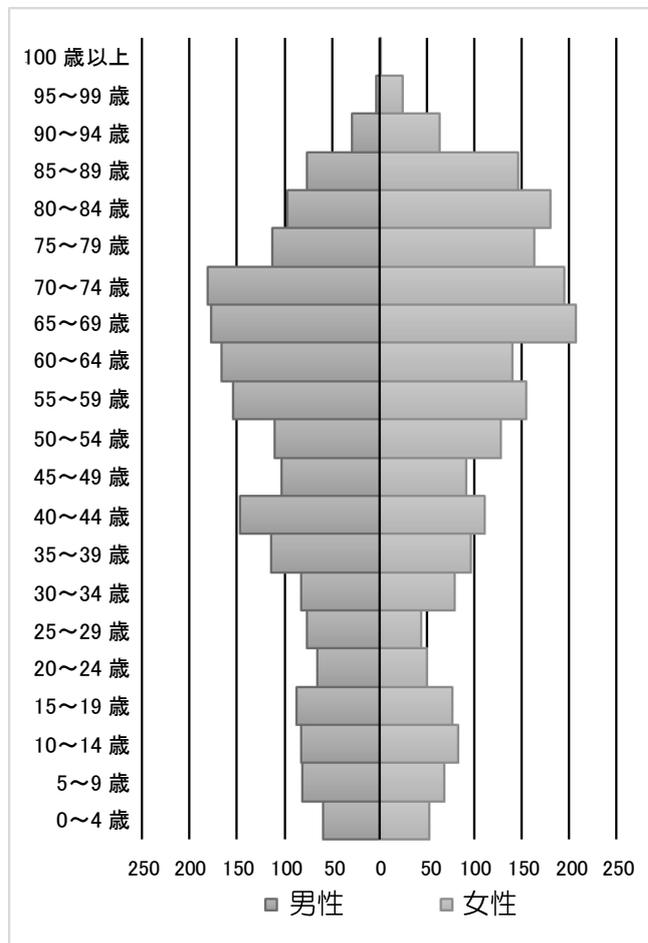
統計で見る地域の特性

人口	4,164
世帯数	2,023
(1世帯当たりの人数)	2.0
年少人口	427
生産年齢人口	2,077
老年人口	1,660
(うち75歳以上人口)	900
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	39.9%
自治会数	36
サロン数(高齢者)	25
民生・児童委員数	11
(1人当たりの世帯数)	183.9

特別養護老人ホーム(法正園・しいのき園)の人口は除く

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

野村地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・商工会活動が愛媛県No.1(軽トラ市等盛ん)
- ・口こみでパートが見つかることがある

【健康・医療】

- ・各地区でのスポーツ大会、スポーツクラブ、公民館等での健康教室がある
- ・ジョギング、ノルディックウォークに適した環境

【地域活動・教育】

- ・地元の行事に帰省し参加してくれる
- ・いきいきサロンで食事会、体操、外出等実施
- ・見守りネットワークができています
- ・若い人がゴミ出しを手伝う
- ・常会や訪問で見守り(区が細かく顔が見える)

【防災・安全】

- ・法正園や各地区で防災訓練を行う
- ・不審者等の情報をすぐに地域で共有できる
- ・家を空ける時に連絡がある

【生活環境】

- ・近所に知り合いが多く、声をかけるとすぐに困りごとが解決する、助け合いがある
- ・山、川があり自然環境が良く、夜空がきれいで、水が美味しい
- ・光回線が各家庭に入っている

【その他】

- ・野村へのリピーターが増加中
- ・人の(良い)噂がすぐに伝わる
- ・若い衆にやる気がある

野村地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足で農業弱体化のため荒れた田畑が増加（耕作放棄地） ・商店街の後継者が少なく、空き店舗が多い <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保年金が将来不安 ・専門医（眼科・小児科）がない ・災害の心のダメージで離職する人もいる <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合で女性の参加が少ない ・少子高齢化により役員のなり手不足 ・つなぎ手である60代の参加が難しい（現役） 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行止めがなかなか復旧しない ・災害時に避難所がない ・高齢者の運転が危ないが、車がないと困る <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が弱い ・空き家がある <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が都会に出て人口が減る ・結婚しない独身者が多い ・ボランティアが当たり前 ・子どもが少なく、好きな運動が地元でできない
--	---

これからの野村地区を考える

課題	地域で行っていること	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が都会に出て人口が減り、結婚しない独身者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元行事に参加する ・飲み会が多い ・人の良い噂がすぐに伝わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・世話役する人が居れば良い ・イベント活動があれば良い
<ul style="list-style-type: none"> ・防災・安全について 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の備品設置 ・防災訓練・防災キャンプ ・消防団活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での訓練（指導者の派遣） ・災害時の集会所の活用（電源） ・防災マップ・各組で名簿作成
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、生活交通バス利用 ・近所の助け合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人での送迎は事故等の心配もあり、制度化が必要 ・移動販売車、移動診療車
<ul style="list-style-type: none"> ・産業の活性化について（宿泊施設がない、空き家等が多い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・民泊 ・ゲストハウスを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時、集会所を活用 ・継続して収入を得る取組み
<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足で農業弱体化のため荒れた耕作放棄地が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・営農集団の取組み 	

社協からのコメント

地元の行事に帰省し、参加している若者も多く、乙亥大相撲では、伝統文化を未来の子どもたちへと繋いでいく郷土愛が育まれている。また朝霧湖マラソン等のイベントに、商工会・地域団体・NPOや住民が協力し、地域づくりを進めている。商店街は後継者不足等の課題があるが、朝霧湖マラソン等で訪れるリピーターも多いので、継続的な収入に繋がる取組みを検討されている。

「近所に声をかけると困りごとがすぐに解決する温かいまち」という意見が出て、ご近所づきあいが活発で地域コミュニティも充実していることがうかがえた。やる気のある若い世代が行事に参加し、世代を超えた住民の助け合いがあり、災害時等にも地域の繋がりが生かされていると感じた。

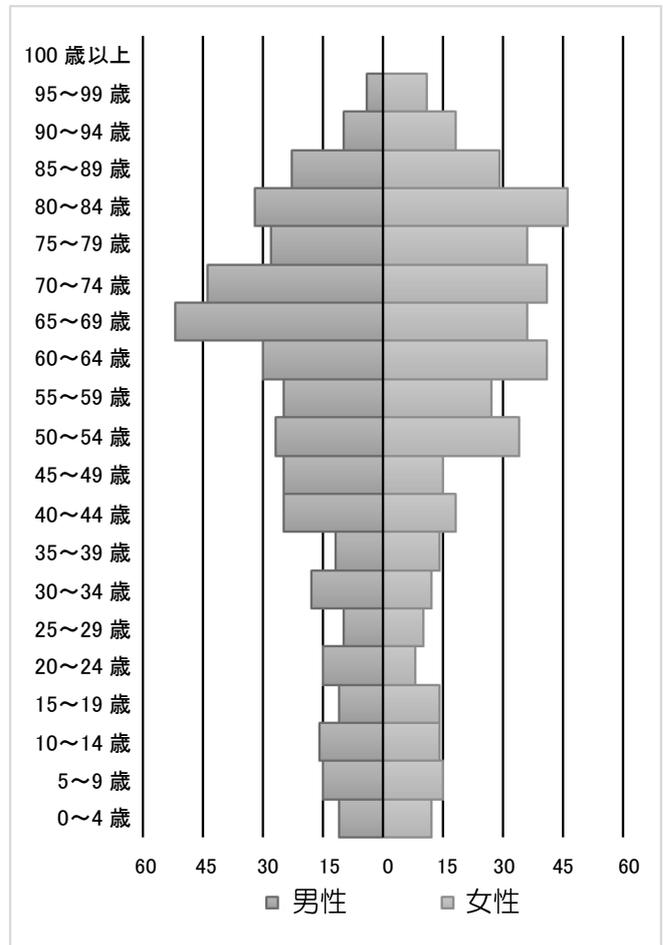
野村町 溪筋地区

統計で見る地域の特性

人 口	884
世帯数	395
(1世帯当たりの人数)	2.55
年少人口	83
生産年齢人口	391
老年人口	410
(うち75歳以上人口)	237
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	46.4%
自治会数	21
サロン数(高齢者)	8
民生・児童委員数	6
(1人当たりの世帯数)	65.8

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

溪筋地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・建設業者3社、整備工場、電気サービスがある
- ・郵便局がある
- ・農家食堂、惣菜加工所がある

【健康・医療】

- ・体協、球技大会、卓球、剣舞、ヨガ、詩吟などがある
- ・ふれあい・いきいきサロンがある

【地域活動・教育】

- ・地域行事(敬老会、納涼祭、相撲、門松づくり、イルミネーション、カープ会このぼり)
- ・お祭り(川まつり、夏まつり、さくらまつり)
- ・見守り活動、移動販売がある

【防災・安全】

- ・自主防災組織があり防災訓練をしている
- ・消防団の団結力がある
- ・駐在所、警察官がいる

【生活環境】

- ・川の水がきれい、溪筋を美しくする日
- ・草刈り部隊がある
- ・国道441号 大洲に近い

【その他】

- ・地区の繋がりが強い
- ・人が熱い、元気
- ・おいしい野菜がある
- ・焼き鳥屋「鳥菊」がある

溪筋地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事が少ない ・農地が荒れる ・JAがなくなった ・給料が安い <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職が多い ・少子高齢化で地域行事ができなくなっている 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害により一般道が通れなくなる ・消防団員の不足、日中地区に団員がいない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段が少ない ・道がせまい、坂道で車イスの生活困難 ・子どもが少ない、一人暮らしの高齢者が多い ・買い物できる店がない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、体育館が老朽化している ・子どもとの接点がない
---	---

これからの溪筋地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
・買い物できる店がない	・移動販売（惣菜）がある（3件）	・日用品の移動販売 ・販売で収入を得られるシステムづくり
・少子高齢化で地域行事ができなくなっている	・行事（例えば運動会）の規模内容の見直し ・2つの行事の同日開催（川まつり、盆踊り大会）	・行事を一部の団体でやるのではなく皆が協力して行う
・一人暮らしの高齢者が多い	・敬老会の開催（弁当配布） ・移動販売 ・見守りネットワーク（社協）	・ご近所単位での見守りシステム（誰が見守るか割り当てる）
・子どもとの接点がない	・クリスマス会、盆ファイヤー、川まつり、花火大会がある	・様々な事業が継続できるような取り組み ・敬老会に子どもを招待する
・農地が荒れる	・農振部会で農作業単価設定	・各地区で若い士を組織して草刈り部隊を結成し、要請があれば請け負う

社協からのコメント

<p>第1回目の座談会では、溪筋のいいところや社会資源をたくさん出していただいた。住民が自分たちの住む地域の素晴らしさを感じている様子がうかがえる。</p> <p>各種活動団体（グループ）、地域行事など人の集まる機会も多い地区である。</p> <p>課題として、少子高齢化に起因する様々な問題を出していただいたが、複数の行事を同日開催したり、見直しをするなどの工夫をして、地域のつながりを大事にされている。</p> <p>溪筋地区の良いところである、「地区の繋がりが強い」「人が熱い、元気」で世代をつないでいただきたい。</p>
--

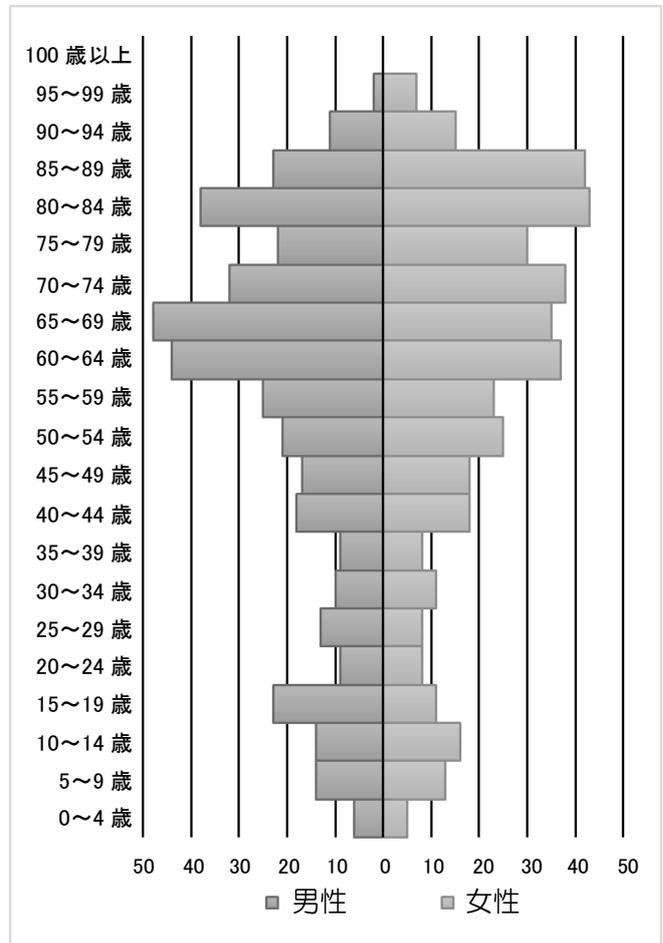
野村町 中筋地区

統計で見る地域の特性

人 口	810
世帯数	363
(1世帯当たりの人数)	2.2
年少人口	68
生産年齢人口	356
老年人口	386
(うち75歳以上人口)	(233)
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	47.7%
自治会数	21
サロン数(高齢者)	7
民生・児童委員数	6
(1人当たりの世帯数)	60.5

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

中筋地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・美味しい食べ物(名物)がたくさんある(手作りの蒟蒻、豆腐、味噌、おはぎ等)
- ・小門松を製品して販売している
- ・きゅうりの栽培が盛んなので、外部の栽培農家に向けた研修をしている

【健康・医療】

- ・健康体操、ヨガ教室
- ・クローカーで楽しみながら健康づくり

【地域活動・教育】

- ・地域ごとに「秋祭り」がある
- ・伝統的な「泉貨紙」がある
- ・世界一の大門松を建てている

【防災・安全】

- ・自主防災組織があり、災害時の備蓄もある
- ・防災教室の開催(防災頭巾づくり等)
- ・独居高齢者への訪問活動
- ・子どもたちの登下校の見守り活動

【生活環境】

- ・虫がたくさんいる
- ・県道の清掃活動
- ・「せせらぎ公園」を、地域で草刈り等の管理をしながら守っている
- ・花植え等の「花いっぱい運動」

【その他】

- ・料理上手な方が多い

中筋地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業等の担い手不足 ・耕作放棄地がある ・若い人の働く場所がない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中筋地区の高齢化率が高い ・近くに診療所がほしい <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの人手不足、青年団の復活 ・小学校の統合により、子どもの声が聞けなくなり寂しい 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織があるが機能していない ・空き家が多い ・高齢者の運転が危ない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・喫茶店、飲み屋等の集まれる場所がほしい ・今、欲しい物の買い物ができない ・JA中筋支店が無くなった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お嫁さん不足
--	---

これからの中筋地区を考える

課題	地域で行っていること	地域で出来ること
・自主防災組織	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、避難訓練を計画中 ・災害時の備蓄がある ・女性防火クラブがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（要配慮者）の確認 ・要配慮者の支援体制づくり
・交通の便が悪い		<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通バスの運用見直しを行政に働きかける（バス停の増加等）
・子どもの声が聞けなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ・地区運動会、グランドゴルフ大会、クリスマス会等の開催 ・愛護班、通学合宿、相撲練習 ・公民館の開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・野村全域から子ども達が集まるようなイベントの開催 ・中筋地区でしかできない体験事業の開催
・お祭りの人手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・「浦安の舞」の継承者がいる ・地元以外の地区との、牛鬼担ぎ手の交流や高校生の応援 	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの時には、地元出身者が帰省して手伝ってもらおう仕組みづくり
・今、欲しい物の買い物ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・JA委託店舗が、地元の方に引き継がれた ・JAのATMがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の引き出しが困難な人に、金融機関の渉外担当の存在を周知して活用してもらう

社協からのコメント

「世界一の大門松」を地域一丸となって制作するまとまりのある地域である。独居高齢者への訪問活動や、子ども達の見守り活動も熱心に取り組んでおり、県道の清掃や花植え、「せせらぎ公園」の維持管理も住民主体で行っている。しかしながら、少子高齢化等の問題もあり、住民主体で出来ていた活動が年々困難になっているという側面もある。また、お祭りの人手不足解消のため、同じ悩みを抱える中筋地区以外の地区と協力し、お互いのお祭りで「牛鬼担ぎ手の交流」を実践するなど、創意工夫にて伝統行事の維持、継承に取り組んでいる。また、住民は「地区内の交通の便は、決して良い方ではない」と感じており、自身で移動手段のない高齢者等は、特に不便を感じているようである。しかし、普段から人と人との繋がりが深く、また様々なアイデアを生み出す地域力もあるので、課題解決へ向けたあたたかい地域づくりに期待している。

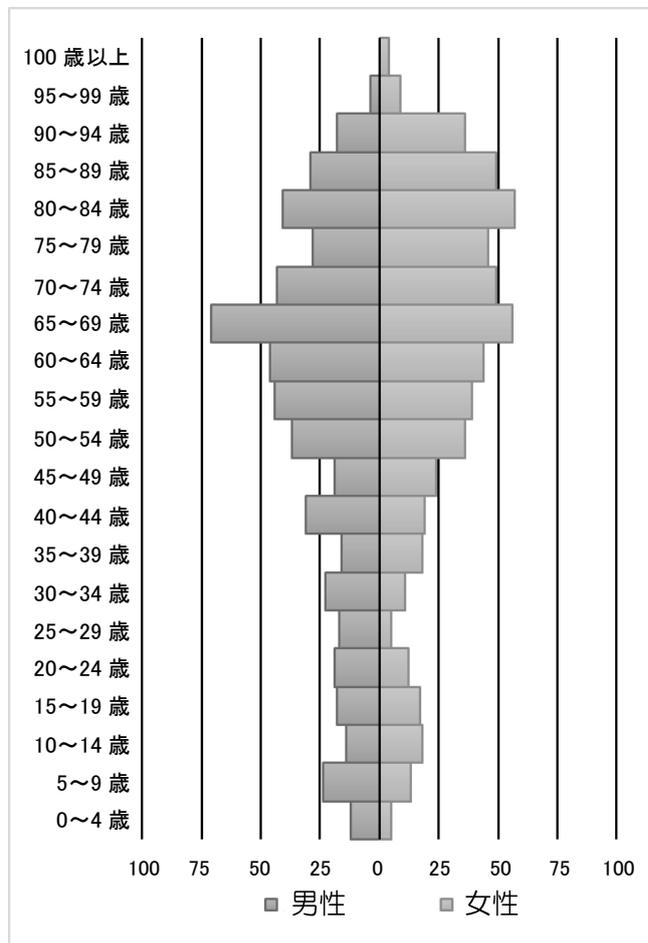
野村町 大和田地区

統計で見る地域の特性

人口	1,121
世帯数	471
(1世帯当たりの人数)	2.0
年少人口	86
生産年齢人口	495
老年人口	540
(うち75歳以上人口)	321
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	48.2%
自治会数	17
サロン数(高齢者)	7
民生・児童委員数	6
(1人当たりの世帯数)	78.5

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

大和田地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・米がうまい
- ・田んぼが多い
- ・耕作放棄地に有志が作物を作っている

【健康・医療】

- ・体育館でバレーをしていた(週3回)
- ・クローカー・グラウンドゴルフをしている
- ・地区の球技大会がある

【地域活動・教育】

- ・愛護班は、ほぼ全世帯加入
- ・地域全員参加による芋炊き会をしている
- ・部落行事に老人クラブの参加者が多い

【防災・安全】

- ・防災マップ作成や防災訓練を始めた
- ・消防団がある
- ・不審者はすぐわかる

【生活環境】

- ・花や桜を植えている
- ・道作りには、地元出身者も帰省して参加する
- ・自然がいっぱい

【その他】

- ・年配者が楽しそうに暮らしている
- ・老人から農業についてのアドバイスをもらう
- ・無形文化財(花取り踊り他)がある

大和田地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無い ・仕事が無い ・水が少なく田植えが出来ない時がある <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い ・体育館が使えない <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の行事に若者の参加が少ない ・大和田地区の行事が災害の影響で出来ない 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時（昨年7月）高齢者に声をかけてもすぐに行動してもらえなかった ・防災に対する意識が低い ・地元消防団員が少ない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道が狭い ・水道が止まる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫁がない ・少子・高齢化が進んでいる ・若い人が少ない
---	--

これからの大和田地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること	期間
・防災意識	・防災マップ作成 ・防災訓練の実施	・防災訓練の実施 ・防災意識啓発 （研修他）	
・地域に店がない （買い物難民）	・近所の人支援	・移動販売車の検討 ・アンケートの実施	
・若い人が少ない （消防隊員：お嫁さん他）		・同窓会の開催支援 （出会いの場として）	1～2 年

社協からのコメント

<p>昨年の豪雨災害の被害からの復興途中であり、防災意識を高めることが課題になっている。防災は、世代を超えて地域がつながるきっかけとなり、要援護者等の実態把握は、災害弱者への配慮の力になる。防災訓練・研修会等で住民同士が集まる機会のたびに、福祉の観点からの防災を考える事の重要性を、訴える必要があると思われる。</p> <p>神社大祭や芋炊き会等、地域全員参加のイベントが多世代交流の場になり、地域の絆を強くし、いざというときに備える地域づくりになっている。</p> <p>買い物支援や過疎化対策等、課題はたくさんあるが、「大きな和となり 想いを一つに 大和田！！」と表題の地域づくり計画書を核に、地域の皆さんが幸せに暮らせるような取り組みが、広がることを期待している。</p>

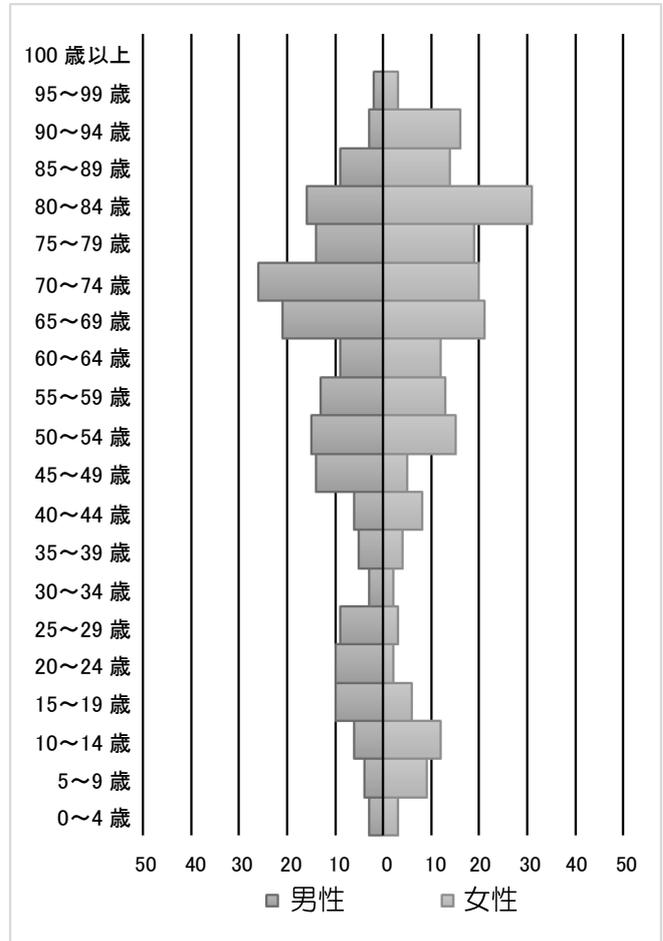
野村町 横林地区

統計で見る地域の特性

人 口	416
世帯数	196
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	37
生産年齢人口	164
老年人口	215
(うち75歳以上人口)	127
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	51.7%
自治会数	10
サロン数(高齢者)	5
民生・児童委員数	4
(1人当たりの世帯数)	49

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

横林地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・ゆずや原木シイタケなど様々な野菜の栽培をしている
- ・ダム湖があるため、釣り人が来る

【健康・医療】

- ・地域や部落での役割がある
- ・家や農地を守る使命感
- ・サロン活動

【地域活動・教育】

- ・地域活動へ積極的に参加している
- ・高齢者が多いため、より気をつけ合っている
- ・顔の見える関係ができている

【防災・安全】

- ・自主防災組織がある
- ・米や野菜を家庭で作っているため、災害時に食料で困ることが少ない

【生活環境】

- ・新旧の橋の名所がある
- ・地区全体で環境整備を行っている
- ・荒れた土地や田畑の管理をしている

【その他】

- ・人情が厚く、協力的である
- ・近所のことを、互いによく知っている
- ・乙亥大相撲の中心として活躍している

横林地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地がどんどん増えている ・水田が少ない ・お店が少ない ・害獣が多い <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて行ける集いの場が少ない ・病院が少ない <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りなどでの役員のなり手がいない ・役が多い 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害などの危険性が高い ・災害時に集落が孤立する ・空家が多い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落からの交通の便がよくない ・地区の保安全管理の人手不足、高齢化している ・独居の方の中には「1日誰も来ない」と言われる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独身が多い
--	---

これからの横林地区を考える

課題	地域で行っていること	地域で出来ること
・災害時の集落孤立	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップの作製(全戸配布) ・各集落に無線機の配置 ・避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップを活用した集落ごとの話し合いと避難訓練 ・地元重機の確保(オペレーターも含む)
・地区の保安全管理の人手不足と高齢化による耕作放棄地の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間制度の活用 ・農地水制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・横林お助け隊の設立(地域内外から)
・集落からの交通の便が悪い(買い物弱者)	<ul style="list-style-type: none"> ・委託店の経営 ・移動販売(民間) ・近所の助け合い(乗り合わせ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・有償移送サービスの検討
・歩いて行ける集い場が少ないため、独居の方が1日誰とも会わない時がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドゴルフ ・サロン活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ運動を定期的に実施
・独身が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントの開催 ・青年団活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚推進活動の充実 ・農業体験を合わせた恋活イベント

社協からのコメント

住民同士互いのことを良く知っているなどコミュニケーションを密に取られており、高齢者の多い所では地域で見守りを強化されているなど、地域の助け合いの力を大切にされている。また、地域行事の企画や住民の参加が活発であり、地区の保安全管理にも力を入れられている。一方で、買い物や通院の際の交通の不便さや、災害時に集落が孤立する危険がある、人口減少や高齢化による耕作放棄地の増加や人手不足が課題となっている。今後、地域でできることを考えていただいたが、住民間で顔の見える関係を築いている点や、活動への積極的参加されている点などの地域性を維持・強化することが、課題解決へのきっかけになると感じた。

野村町 惣川地区

日時 : 令和元年10月30日(水)
19:00~20:30

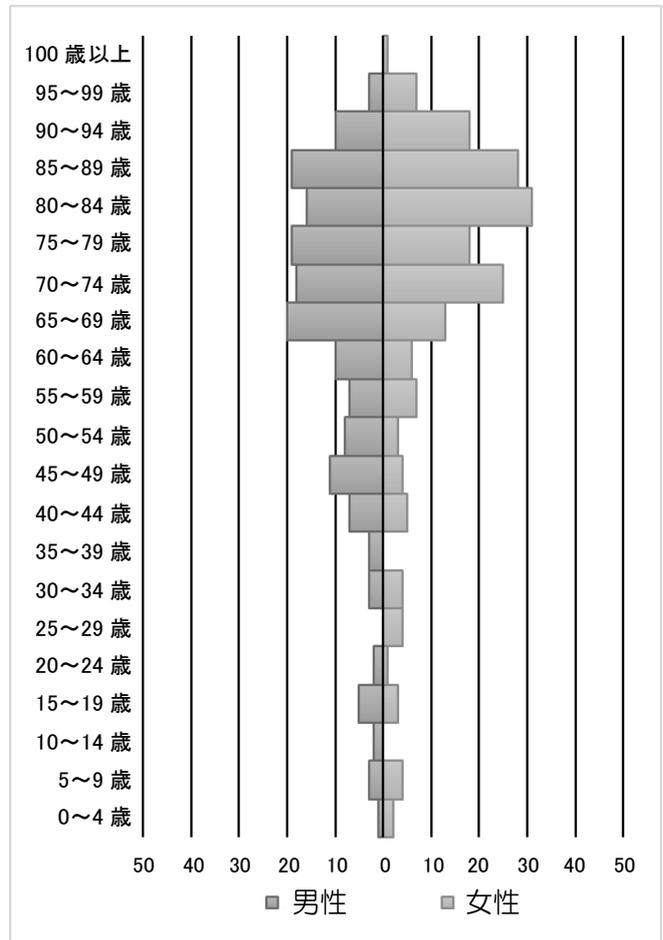
会場 : 惣川公民館 2階ホール

統計で見る地域の特性

人口	351
世帯数	209
(1世帯当たりの人数)	1.7
年少人口	12
生産年齢人口	93
老年人口	246
(うち75歳以上人口)	170
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	70.0%
自治会数	24
サロン数(高齢者)	4
民生・児童委員数	6
(1人当たりの世帯数)	34.8

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

座談会の内容 ※ 意見交換会方式により開催

【地域でやっている事】

- 小学生、幼稚園児と高齢者センターとの交流事業
- サロン活動(清掃、しめ飾り、イルミネーション、活動後のお楽しみ)
- サロンの送迎を参加者同士で行っている
- 防災の活動として、球技大会と合わせて炊き出し訓練

【地域の課題】

- サロン活動の参加者が減っている
- 移動手段について(バス停までの移動が大変)
- 家族以外とのコミュニケーションが少ない

【その他の意見(要望等)】

- 高齢者等に関する情報収集をお願いしたい
- 惣川で暮らし続けたいが、息子さんの家(惣川外)に移住した高齢者がいる
- デイサービスの利用について、啓発を行って欲しい
- 平成30年西日本豪雨の際、惣川地区での被害について
- 災害の際、地理的に自宅待機となる方がいる
- 介護保険について住民が住みやすい、暮らしやすいものに
- 子どもの通学の問題。(距離とバス通学)
- 「給食サービスの集い」の対象者について

野村町 大野ヶ原地区

日時 : 令和元年10月30日(水)
13:30~15:30

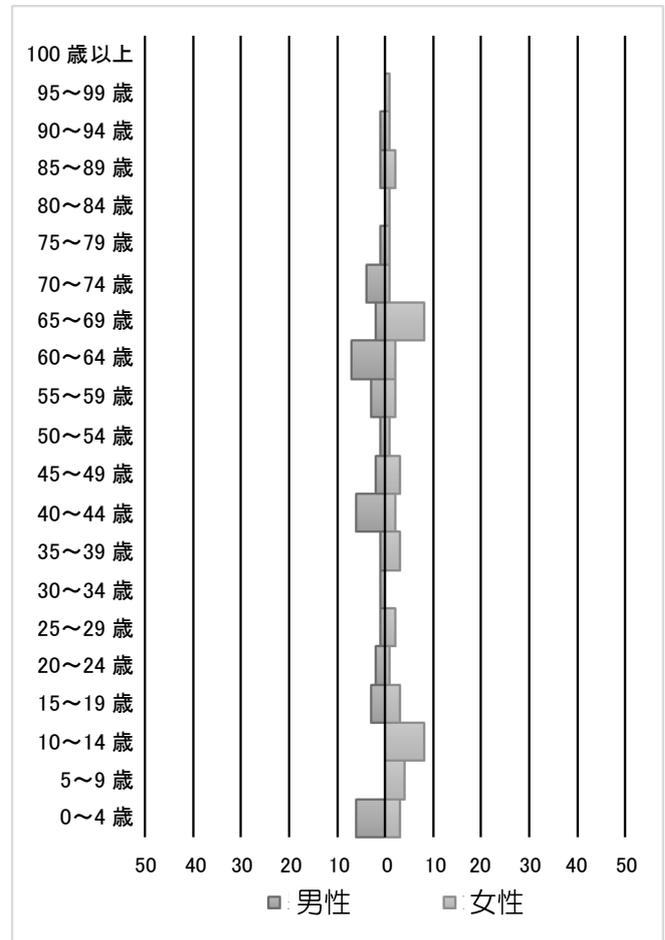
会場 : 大野ヶ原地区集会所

統計で見る地域の特性

人口	91
世帯数	27
(1世帯当たりの人数)	3.4
年少人口	21
生産年齢人口	46
老年人口	24
(うち75歳以上人口)	9
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	26.4%
自治会数	2
サロン数(高齢者)	0
民生・児童委員数	1
(1人当たりの世帯数)	27

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

座談会の内容 ※ 意見交換会方式により開催

【地域で行いたい事】

- ・お年寄り子どもと一緒に過ごせる場所づくり(空き家を使った地域食堂など)
- ・お年寄りが子どもに昔の遊びを教える機会を
- ・地域で集まる場所が欲しい(サロンが無くなり、集まる事が少なくなった)

【その他の意見(要望等)】

- ・災害に関する不安などについて
 - 倒木などによる通行止め
 - 災害時(地震・大雪)の備蓄について
 - その他の不安(断水、家畜の世話、安全な避難場所、避難場所での入浴施設等)
- ・デマンドバスの運行を大野ヶ原まで

・防犯について

- 防犯に関する啓発を(防災無線の活用など)
- 防犯カメラの設置(行政と各家庭で)
- ・集団検診を大野ヶ原でも(昔は実施していた)
- ・高齢者施設の空き状況が解るサイトが欲しい

